

卓球大会における団体戦の服装について

【日本卓球協会の服装についてのルール「2.2.2 競技服装」】

「2.2.2.1 競技用服装とは、通常半袖シャツまたはノースリーブシャツ、ショーツ、またはスカートまたは上下一体のスポーツ用服装、靴下及び競技用シューズから成るものとする。従ってトレーニングスーツの一部または全部を着用して、定められた以外の服装で競技することはできない。

ただし、審判長の許可があった場合はこの限りではない。」

「2.2.2.1.1 競技用シャツ、ショーツ（ショーツパンツまたはハーフパンツ）またはスカートは、いずれも J T T A が公認したものでなければならない。

「2.2.2.4 主催団体でゼッケンが設定されていない場合は、J T T A 指定のゼッケンを使用しなければならない。」

「2.2.2.8 団体戦に出場するチームの全競技者は、靴及び靴下、服装についている広告の数、大きさ、色及びデザインを除いて、同じ服装で競技しなければならない。」

【全国聾学校体育連盟のこれまでの対応】

(1) 団体戦のユニフォームの統一について

○短パンについての共通理解

→各地区大会では、ショーツは同系色・同型という認識で、メーカーまでは意識されていない現状であった。全国大会についてもこの流れで良いのではないかという方向性が確認された。

＜平成 24 年度 第 2 回常務理事会にて確認＞

○連合チームのユニフォームの扱いについて

→同一のユニホームが望ましいが、それぞれ自校のユニホームでもよい。
但し、ユニホームが同一でない場合は、審判長の承認を得ることとする。

＜全国聾学校体育連盟大会運営細則第 1 5 条 4（3）アより＞

(2) ゼッケンについて

○大会要項 13 ゼッケン

→選手は背に、氏名・校名を明記した縦 20cm×横 25cm のゼッケン（布製）をつけること。
とのみ、指定している。J T T A 指定という文言をはずしているのは、高体連の大会に出場していない選手への配慮ということが考えられる。

【今後の連盟の方針と可否のポイント】

(1) ユニフォームのシャツは同一であること。

(2) ユニフォームのショーツはベースの色が同一であれば、メーカー・デザイン（ラインの色・形等）の相違は認める。

(3) ゼッケンについては、これまでどおりの解釈とする。

「ゼッケンは定められた規格（大きさは縦 20cm 横 25cm、選手名、所属名を明記）のもの、あるいは（公財）日本卓球協会のものを使用する。」＜本大会申し合わせ事項・競技上の注意より＞